

所論諸論



谷口 博昭
芝浦工業大学
工学マネジメント研究科客員教授

昨年10月久慈市に訪問
の折、久慈から古代奈良
の都へとバルト海から地
中海沿岸都市への琥珀の
道を示した二つの地図を
見る幸運に恵まれた。加
えて、2月中下旬、P I
ARC(世界道路会議)
冬季大会参加のためバル
ト海の琥珀流通拠点であ
るグタニスクを訪問する
機会を得た。わが国は街
道・道の文化、欧米は広
場・都市の文化と称され
るが、「向う三軒両隣」
の地域社会形成と城壁都
市形成という相違はある
ものの、モノ・情報の交
換や文化交流など道を行
き交い道により発展して
きた歴史や道の果たす役
割は古今東西普遍である

ことを再認識した。8月
の「道路ふれあい月間」
にちなみ、琥珀の道に触
発され思い出したシユラ
イバー著『道の文化史』
『道の文化史』であった。
「琥珀の道」の次は二
他にも、第2楽章一
その時代の主な商品の名
によって、琥珀の道とい
う名前がつけられたので
ある。”と記されている。
同様に、沿線の生活必需
品と共に琥珀の広域的交
流があり、久慈から古代
奈良の都に至る街道が長
い年月をかけ形成された
ものと推察される。

「琥珀の道」から「道の文化史」へ

を以下に紹介する。
『道の文化史』を知っ
たのは昭和40年代後半、
建設省近畿地方建設局係
長の時だった。伸長顕著
なモータリゼーションに
道路整備がキャッチアッ
プできない時代で、賢く
歴史文化に学び需要追隨
で無く国土、地域社会、
都市や暮らしとの関わり
中で道路のあるべき姿を
追及することが肝要であ
る。『道の文化史』を紐解
くと、サブタイトルに
「一つの交響曲」とある
ように第1楽章から第4
楽章までの構成になって
おり、第1楽章アダージ
ョ・モダートの最初が
「琥珀の道」である。
紀元前1900年から
3000年までの間に、中
部、東部ヨーロッパは定
期的に商人の通る4本の
商業路によって貫かれ、
「神聖なわだち」「二すべ
の道はローマに通ず」
や「道路の交響曲」一つ
のエピソードのシャ
ンゼリゼーやウンター・
デン・リンデン街の由来
などリベラルアーツを駆
使しての示唆に富む記述
が満載だが、詳細は割愛
しここでは『道の文化史』
の序言を以下に紹介する
にとどめておきたい。
「道は人間と同じく古
く、同じく新しい。そし
て各世紀が新たに道を作
られねばならない。われ
われは「道のない」中世
の例から、道路建設に関
する限り過去の遺産を食
ってゆくわけにはいかな
いことを認識し、現代の
要請にしたがって新たに
道を作るならば、道は過
去の多くの時代と民族に
とってそうであったよう
に、われわれの時代にと
っても生命の動脈となる
であろう。」
『道の文化史』に学び、
暮らしや経済活動を支え
る最も基礎的なインフラ
である道路を食いつぶす
ことなく良質な「生命の
動脈」として次世代にし
っかりと継承することが
現代の責務であろう。」

〈注〉文中引用は『道の文化史』(関楠生訳、岩波書店、1979年10月30日第13刷発行)に基づき筆者が要訳

論 諸 論



谷口 博昭

芝浦工業大学客員教授

2023年度「道路ふれあい月間」推進標語中学生の部の最優秀賞「こ

これに鑑み、地域社会の再生を夢見て「点から線・面へ」「道路区域から沿道・その周辺へ」「車から人へ」を重視し、「道ルネッサンス」を提唱。有識者委員会に続く

震災を乗り越え精神的に歩めるような備により並行する。下道の交通量が減少する故に、「道の文化」にふさわしい道路の活用のためにも高規格道路の整備促進が肝要だ。第211回通常国会で高速道路の償還期間延長の法律が成立し、また新たな国土形成計画で「高規格道路ネットワークのおおむね2万キロの形成・機能向上を図る」とされた。

「道の文化」にふさわしい道路の活用と整備・保全

「みち(道)」「ち」に意味はなく「ち」であり、「ち」が分かれる「ちまた」に市が開かれ、人、物が集まり、「ち」・街道沿いに人家が連坦し、街・町が形成されてきた「街道、道の文化」だ。ス様(かよつ)に街道を軸に「向こう三軒両隣」の地域社会が形成されたが、モータリゼーション

任の04年ころ、自動車関係諸税による道路特定財源に批判が高まる一方、1993年に制度化された「道の駅」は好評だった。道路は車が通過するのみでなく、トイレ休憩に立ち寄り沿道との接点が生じ、新鮮な農水産物の購入などによる道路利用者との相互関係が成立したこと

戦略会議(委員長||奥田碩経団連会長(当時))の議論を経て、米国のインターステイトハイウェイ概成の89年に成立した「シーニックバイウェイ(景観に優れた街道)の日本版と言える「日本風景街道」が2007年にスタートした。現在145地区が登録されている「日本風景街道」の一つで、東日本大

1月28日、その10周年の記念事業に参加。中学生、高校生、大学生からPR動画ビデオの応募があり、審査の上、表彰した。HRN顧問の私は、応募者と参加者に感謝と御礼を述べ、新海誠監督のアニメ映画「すずめの戸締り」を紹介。家族や人

さらには3月24日、第9回「道の駅リレー防災セミナーin厚岸」に参加した。「道の駅」制度創設30年を機に、北海道の先導的かつ精力的な活動の文化」にふさわしい道路の活用と高規格道路など道路の整備・保全が一層進展するよう、しかるべき道路の予算、財源が確保されることを期待す

7月27日、中部縦貫道路勝原〜九頭竜間と冠山峠道路の年内開通並びに北陸新幹線金沢〜敦賀間の来春開通を前に企画された「新時代へ挑む「福井県・道づくり大会」へ招かれ、福井県が新たなステージに立つことを期待し、参加した。「道の文化」にふさわしい道路の活用と高規格道路など道路の整備・保全が一層進展するよう、しかるべき道路の予算、財源が確保されることを期待す